



環境省

脱炭素化に向けた我が国の取組

令和4年3月2日

環境省 環境事務次官 中井 徳太郎



<ウイズコロナ・ポストコロナの時代>

「3つの移行」で経済社会をリデザイン（再設計）

⇒地域循環共生圏（ローカルSDGs）の創造

脱炭素社会

- ゼロカーボンシティ再エネ強化支援パッケージ
- 「新たな日常」の脱炭素化
- 脱炭素イノベーション加速化

循環経済

- プラスチック資源循環戦略の具体化
- 持続可能な廃棄物処理体制構築
- レジリエントな廃棄物処理

分散型・自然共生社会

- 「気候変動x防災」「適応復興」によるレジリエント化
- 国立公園の抜本強化
- 新たな里地里山里海の創造

移行を支える取組

ESG金融・ナッジ等を活用した社会変革

- ESG金融、インパクトファイナンス
- ナッジ
- 脱炭素経営、スタートアップ支援

環境外交の強化

- COP26、COP15 に向けた外交強化
- 大阪ブルーオーシャンビジョン拡大・深化
- 脱炭素化原則に基づく環境インフラ輸出

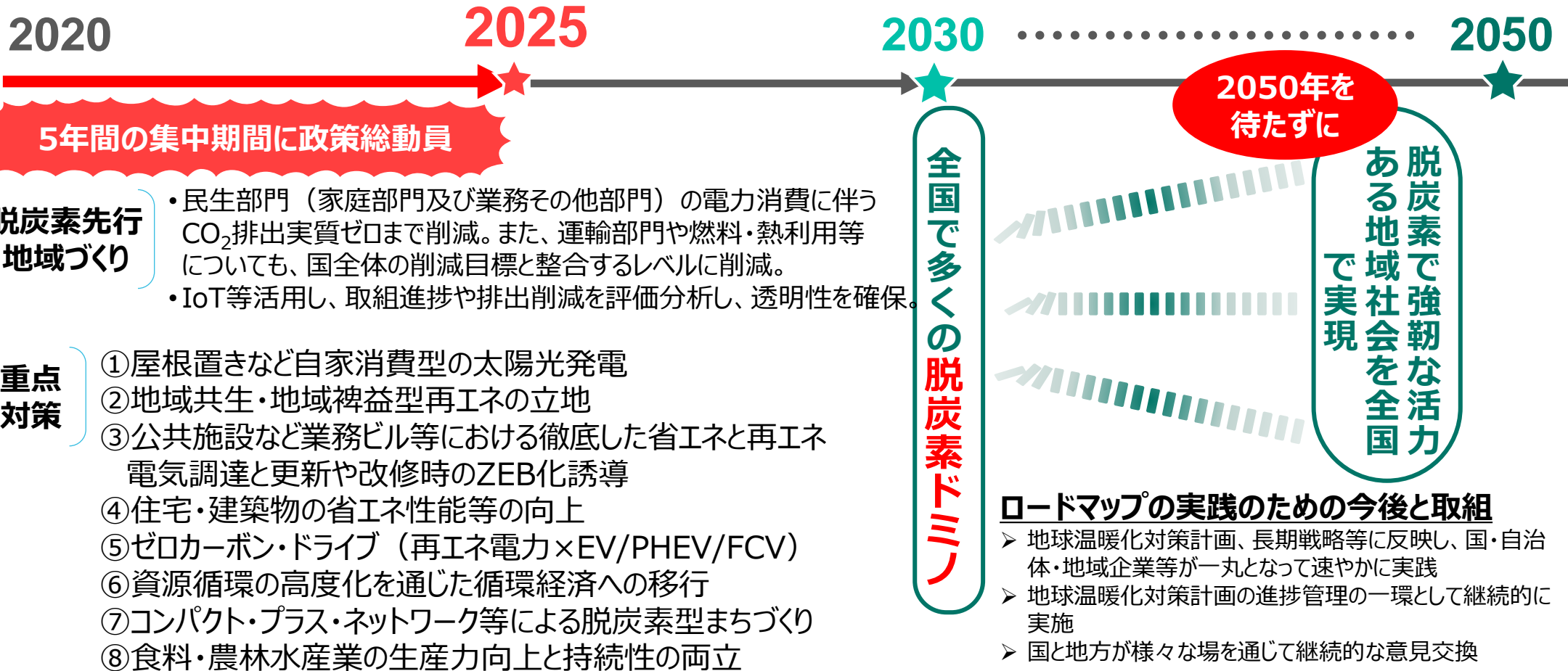
基盤となる健康と環境を守る取組

- 人獣共通感染症対策
- 石綿、PCB、水俣、動物愛護管理

地域脱炭素ロードマップの全体像（脱炭素先行地域づくりと重点対策）

今後の5年間に政策を総動員し、**人材・技術・情報・資金を積極支援**

- ① 2030年度までに少なくとも**100か所の「脱炭素先行地域」**をつくる
- ② **全国で、重点対策**を実行（自家消費型太陽光、省エネ住宅、電動車など）



★**基盤的施策** ①継続的・包括的支援 ②ライフスタイルイノベーション ③制度改革

- 企業の持続可能性を高め、ポストコロナ時代の新たな競争力の源泉となりうる循環経済、さらに脱炭素化を資するビジネスモデルが国内でも台頭。

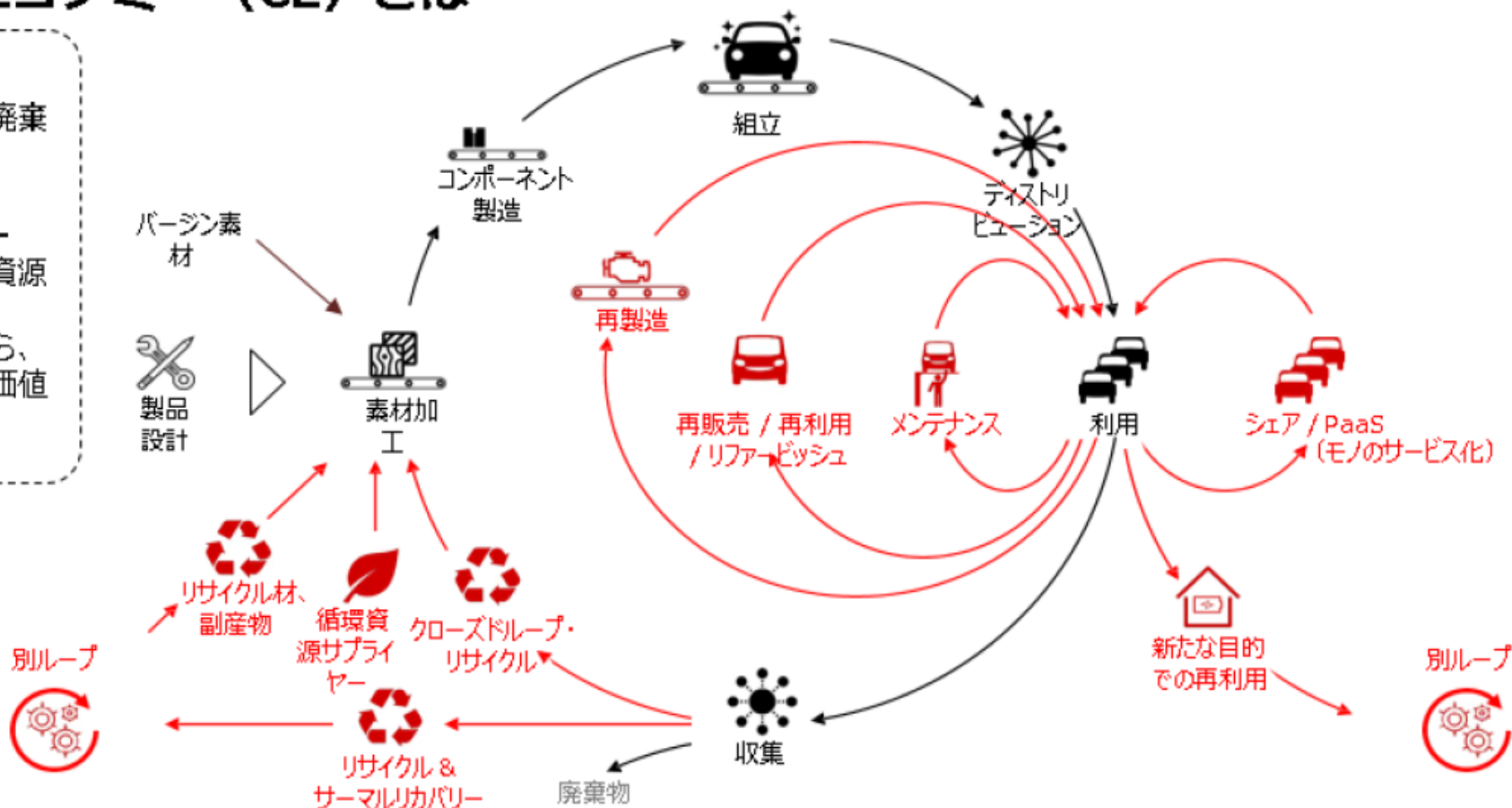
サーキュラー・エコノミー (CE) とは

線形経済

大量生産・大量消費・大量廃棄
の一方通行の経済活動

サーキュラー・エコノミー

従来の3 Rの取組に加え、資源
投入量・消費量を抑えつつ、
ストックを有効活用しながら、
サービス化等を通じて付加価値
を生み出す経済活動



(資料：環境省)

— 30 by 30 — 2021年G7サミットで約束

- **保護地域**（国立公園等）の更なる**拡充**・管理
- **保護地域以外の場所**で生物多様性保全に貢献する場所（**OECM**）の**認定**（社寺林、企業有林、企業緑地、里地里山等）

OECM認定により期待される効果



脱炭素

CO₂の吸収・固定、
防災減災に寄与する
自然の再生



循環経済

プラ代替のバイオマス
資源の持続的な生産



農山村

鳥獣被害の防止や、
恵み豊かな里山の
維持



食

地元の安全安心な
食べ物の生産



健康

免疫力高め、健康な
生活を支える身近な
自然とふれあう



いやし

疲れを癒し、充実
した余暇を楽しみ、
心を潤す

地域の活力が最大限に発揮されることを目指す

- 地域資源を活かし、**自立・分散型の社会**を形成
- 地域の特性に応じて補完し、**支え合う**

第五次環境基本計画（閣議決定）

- ✓環境・経済・社会の統合的向上
- ✓あらゆる観点からイノベーションを創出
- ✓幅広いパートナーシップを充実・強化

脱炭素社会
循環経済
分散型・
自然共生社会

3つの移行

経済社会の
リデザイン = 再設計



地域の活性化・持続可能な地域
環境・生命文明社会の実現

- 昨年のCOP26で、パリ協定の実施ルールが完成。**1.5°Cという世界共通の目標に向け、あらゆる国と地域で脱炭素に向けた動きが本格化**
- **「アジア・ゼロエミッション共同体」**に向けて、JCMも活用しながら、我が国の経験と技術を「日本モデル」として、アジアを中心とする途上国に展開、有志国を募っていく

COP26の成果のポイント

- 国際的な市場メカニズム含め、**パリ協定実施ルールが完成**
- **今世紀半ばのカーボンニュートラル**及びその経過点である**2030年に向けて野心的な気候変動対策**を各国に求めることを決定



COP26で演説を行う岸田総理

1.5°Cに向けた早期大幅削減へ

特に、**成長著しいアジアの脱炭素化が「鍵」**

(日本としての貢献の例)

- **日本の経験・技術を活用し、途上国の計画策定**を支援
- 二国間クレジット制度 (JCM) 等による**民間プロジェクト形成、途上国政府の体制整備や能力構築**を支援
- **日本とアジアの都市間連携**により、脱炭素化を支援

「日本モデル」をアジアに展開

- ⇒ **アジア・ゼロエミッション共同体に向けて有志国を募っていく**
- ⇒ **世界の排出削減への貢献と我が国の成長につなげていく**



ご静聴ありがとうございました。